

に南山背灸にハ會津見下一中に成るべき
所なりハ白川の口に葦花系と云彦地とを
徳新傳りりそ竹木を伐るハ地形を
打くハ白川の城を大なる一の木戸と
一番合戦ハ武蔵と安田二万余と防戦ニ
ハ勝陣三万余と白川の城をこもり又
子着陣何ハ葦花系に押せし一戦を
廊人と善戦を爲りしと傳えんハ白川の
城をこもり六万余騎同枕を討死と極め
り

須田大炊女御殿と名之年

去程不敗宗と合戦し武力好年の世に於て上
頼家旧臣福島の城主也所執事繁長ハ二
万余と西ノ門より打ちか信玄山の方より政宗
の右に後押せりりんと見て政宗は政宗にえけ
り繁長ハさき不敗と政宗と討陣せり築
川の城主須田大炊女長女ハ須田大守築地
修理亮車丹後と云て政宗今朝松川の陣を
破り上杉勝と云て福島と云て戦りいさ
遙陽川御殿ハおさひの人数を遣散し以